

雷別ドングリ倶楽部でコンテナ苗育成用のトレイにミズナラ等を移植



コンテナ苗育成用の培養土を作っています。



幼苗をコンテナ苗育成用のトレイに移植しています。

7月9日（水）、雷別ドングリ倶楽部の活動で、広葉樹の幼苗をコンテナ苗育成用のトレイに移植する作業等を実施しました。

まず、昨年の秋と今年の春に播いた標茶町雷別産のミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、キハダ、イタヤカエデ、シラカンバの芽生えの様子等を観察しました。

次に、幼苗の生育が順調なミズナラとキハダをトレイに移植しました。初めて移植作業を体験する会員が多かったことから、コンテナ苗育成用の培養土作りとコンテナ苗の特性等を説明してから作業を実施しました。他の樹種については今後の発芽や生育状態を見ながら移植を行うことにしました。また、雷別の森林再生事業地には植栽しませんが、コンテナ苗育成用のトレイで針葉樹を育てた場合の生育を観察するためにトドマツとアカエゾマツの幼苗も移植しました。

作成した広葉樹のコンテナ苗は、標茶町や釧路市など近隣の市民の皆さんに自宅の庭で3年間ほど預かって育てていただくお手伝いをお願いしています。育ったコンテナ苗は、釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターが実施している雷別地区自然再生事業地に平成22年度から順次里帰りする予定ですので、ご協力いただける方はご連絡お待ちしております（釧路市千歳町6-11 TEL0154-44-0533）。



コンテナ苗育成用のトレイに移植したミズナラです。



コンテナ苗育成用のトレイに移植したキハダです。